

## 情報連絡一覧票 (石川県中央会・平成17年8月分)

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	パン・菓子製造業	学校給食委託業者においては、児童・生徒の減少、その他市町村合併により、すでにパン納入回収が減らされている。自治体にあわせて、一方的に納入不用の動きがある。委託会社においては死活問題であり、教育委員会の見解を問いたい。給食は食育であるならば、米飯・パンをバランス良く食する方が良いと思われま
	調味材料製造業	7月度の醤油出荷量は、前年同月比やや減少だった。消費低迷が続いているため、依然として出荷量は前年水準を下回る状況が続いている。
	パン・菓子製造業	加賀野菜を使った和菓子等がなかなか人気で試行錯誤しながら努力している。
繊維・同製品	その他の織物業	昨年と比較すると減少幅が小さくなっているが、全体の落ち込みが大きく二極化がさらに加速している状況。少数ではあるが、設備投資を行い多品種・小ロット生産等に対応して同業他社との差別化を図っている。一般消費者向けに商品を販売している企業は、マーケット動向の把握に苦戦し、提案営業も引き合い等の口コミ案件に対するものが多く、地道な活動を強いられている。今後、各種展示会に出展しPRを行う企業も多い。
	織物業	絹分野では海外激安製品の圧迫が更に強まり、多品種・極少ロットの発注に終始し、中国元の切り上げも原材料の生糸だけが高騰し、過去の幾多の困難より増し厳しい状況で推移している。合繊分野では創造性・企画力を備え、少ロット・短納期に対応し、ブランド品等の厳しい品質要求に応えられるインテリア・カーテンやマイクロ繊維など差別化織物分野で受注を確保している商品、企業も見受けられるが、これらに対応できない企業はまったく仕事が無くなる非常な時代となった。高品質対応と強い低コスト要請や開発費の増大、圧迫により採算性は厳しい。
	ねん糸製造業	長極細繊維(主にナイロン)において、伸縮性のある極細繊維はスポーツ衣料に需要があるようだが、先行きに懸念材料が見受けられる。盆休等の休日が重なり厳しい経営状態が続いている。企業間格差が一層厳しい。
	その他の織物業	8月度は、昨年8月に比べ15%の売上増となった。しかしながら、昨年が、前年比36%の大幅な売上落ち込みを考慮すると回復ではなく、依然として、生産落ち込みが継続していることを語っている。今年は、年初から売上落ち込みが始まり、回復局面を迎えないまま現在に至っている。今後、回復へと向かうのか予断を許さないのではないか。
木材・木製品	製材業、木製品製造業	原木価格の低迷により、立木の売買価格に差異がある為、原木買付業者等は困っている状態。
	製材業、木製品製造業	8月度は、プレカットで前月に続き好調に推移したと言える。先月の報告通り多面での価格上昇が見られた。中にはまだ上がる可能性を持っているものもある。供給過剰による予定外の価格競争に巻き込まれぬよう頑張りたい。
窯業・土石製品	砕石製造業	8月の組合取扱い出荷量は対前年同月比生コン向け25.7%増加、アスコン向け0.4%の減少となり全体量では22.8%の増加となった。金沢地区生コン向け出荷が対前年同月比36%増加しており、他地区生コン及びアスコンの出荷伸び悩みを支えている。
	陶磁器・同関連製品製造業	引き続き需要の停滞が強く感じられる。そのような中、平成19年度中に食品衛生法の改正の情報があり、業界として対応が必須である。絵具の完全無鉛化を図っているが、全品対応に至るまではまだ時間がかかると予想される。
	生コンクリート製造業	県内の生コンクリートの出荷状況は、17年8月末現在、前年同月比107.8%とプラスの出荷量となった。8月の地区状況は、加賀地区(金沢、南加賀、鶴来・白峰)がプラスとなったが、能登地区(羽咋・鹿島、七尾、能登)は全てマイナスとなった。官公需及び民需で見ると、官公需は、金沢、鶴来・白峰地区でプラスとなったものの、他の地区は全てマイナスとなり、全体としては、前年同月比98.0%と落ち込んでいる。一方、民需は、金沢、南加賀、能登地区でプラスと伸びて全体としては、118.9%となった。県全体を4月～8月までの累計で見れば、金沢地区は好調に推移しているが、その他の地区はかなり厳しい状況で推移している。
	粘土かわら製造業	油やガスの高騰が続くため、産地より値上げの動きが出て来ている。メーカーによっては9月より値上げを実施すると通知している。
製造業	一般機械器具製造業	鉄工センター組合員全体が活況である為、毎月会議があるが依然として強気の弁である。海外に向けての仕事も14社中4社が海外活動において活発的である。
	非鉄金属・同合金圧延業	前月と同様、特に変化は認められない。

情報連絡一覧票

(石川県中央会・平成17年8月分)

鉄鋼・金属	鉄素形材製造業	業況は比較的安定しており、生産量は6,7,8月と前年対比10%強を上回る状況である。売上高、販売価格の上昇は、鑄造品価格の見直しから来ているもので、原材料等の値上がりが続くなか、企業経営は相変わらず厳しいものがある。これからは、一層の受注拡大を図るとともに合理的製造手段を考えていかなければならない。
	鉄素形材製造業	前月同様各指標に変化は生じていない。
	機械器具の生産	仕入材料は高値で安定している。従業員不足は外国人労働者で賄っているが、生産性が上がらない。
一般機器	機械、機械器具の製造又は加工修理	2・8月は不景気の月と昔から言われているが、こと鉄工機電に関しては、どうも今年は違うような気がします。石川県は東京、大阪に次ぐニッチトップ企業が多い県であり、景気の波にもまれながら幾多の困難を突破してきた。現在もしっかりである。ここにきて、また当県の主要産業である建設機械、工作機械、繊維機械の三本の柱がそろって活況を呈している。この好況は暫く続きそうだ。ただ9月の選挙如何では、対外的な貿易面で東アジアを中心とした国々との摩擦も考えられるが、概ね今年度は大崩がないと見るのが大方の見方であろう。
	機械金属、機械器具の製造	全体的に忙しく、業種によっては残業をしているところもある。
	繊維機械製造業	繊維機械、工作用機器とも年内一杯好調に推移する事が確実にようになってきた。組合員の中に工場の増設、機械の導入、従業員の雇用を行ったり等の計画をしているところが出てきている。しかし、工作機械の納期は長く、人の採用も優秀な人材が少なく、思うように進んでいないのが実情である。
	プレス、工作機械	受注は引き続き好調に推移している。
	機械器具及び其の他金属製品の製造	原材料費の高騰分の補填が課題である。
	機械金属、機械器具の製造	機械製造業関係は好調を維持しており、操業度は高水準を維持している。突発的な一品料理品をこなす余裕が無く、多少コストは高くなってもやってくれる所を探すと状況が間々見られる。
その他の製造業	漆器製造業	8月は7月に引き続き漆器業界のシーズンオフであるとともに、新カタログや新商品移行への端境期である。しかしながら6月に新年度版を印刷、配布した組合カタログについては例年に比して初期需要が少なく早くも新たな販促活動が求められている。また近代漆器の金型投資については産地全体の生産額減少傾向の中、少数ではあるが前年並みの投資額との回答があった。

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	一般機械器具卸売業	6、7、8月の夏場商戦は、昨年ほどの猛暑にならず低調でしたが、石川県市場でエアコンの売れ行きは8,000台から9,000台の間で推移しました。価格的にはそれほど値崩れせず台数がこなせない分、価格維持で利益確保出来たようです。箱物(ビル、オフィス、工場の建物)は、金沢駅前や県庁通りのDOCOMOビル程度でした。住宅需要は、前年並みの着工戸数です。
小売業	燃料小売業	仕切り価格が大幅に上昇したが、金沢周辺の一部幹線道路沿線で安値・量販店が値崩れしていたところへ別の安値店が安値看板を掲示したため安値・量販店が追随し一般店との価格差が拡大した。9月も大幅な仕切り価格上昇が通知され過去の未転嫁分と合わせより大幅な小売値上げが予想される。七尾以北では130円時代の到来。
	機械器具小売業	8月度、地域店景況は、猛暑に助けられルームエアコンの実販は伸びたものの、液晶・PDP大型テレビは、秋商戦・新製品発売を前に、従来品の処分による価格下落が量販店から始まり、急激な単価下落を招き、この商品郡の金額は前年をダウンした。DVDプレーヤーは台数は増加したが、これも単価下落が響き金額伸びを稼げなかった。冷蔵庫・乾燥洗濯機も台数ダウンで、トータル売上金額は前年伸び95%に止まった。
	男子服小売業 婦人・子供服小売業	前年度に増して猛暑となり、上旬までは売上高が好調に推移したが、中～下旬にかけて販売不振が続く、前年比確保が出来なかった(96.5%の前年同月比)。
	鮮魚小売業	異常とも思える真夏日の連続で鮮魚の売れ行きは不振。その中でも青物類の魚が安価に推移して売り易い。暑さ故か、丑の日に引き続き「うなぎの蒲焼き」が例年に比べ売れる。お盆の前後以外は例年通り「夏枯れ」の感。売れ行き低迷か。
	他に分類されない その他の小売業	観光客の数は前年を下回っていますが、お客様の層としてヤングファミリーに加え、ミドルのご夫婦の旅行者が増加している。

情報連絡一覧票

(石川県中央会・平成17年8月分)

	百貨店・総合スーパー	8月の売上は予算比85.1%で前年比95.3%という結果であった。7月からの好調な日々も8月3日までで、8月4日以降はお盆まではとても悪かった。お盆期間(8月13日～8月16日)は、恒例の夏祭りイベントを行った結果、購入単価の低い雑貨・食品・飲食は売上を伸ばしたが、ファッション・服飾は良くなかった為、トータル的には前年比をクリアできなかった。また8月27日のチャリティーオークションは前年に同様なイベントを行っていなかったのもあって、各部門とも売上客数は前年を伸ばした。月トータルでみると、ファッション・服飾関係が最後まで良くなかった。
	米穀類小売業	米販売店の荷動きがいまいちです。弁当等昼食関係もやや落ち込んでいるようです。肉類の不安感が影響しているためか、外食向け業務用も減っている。外食では回転寿司だけが伸びている。これが和食回帰に結び付き、コメの良さを見直されるきっかけになるなら、明るい材料と言える。消費者も米の消費拡大、自給率向上など食育が大切になっている事を理解すべきと思う。
商店街	近江町市場	売上は伸び悩んでいる。9月の底引き網漁に期待をしている。
	尾張町	二八といえば、売上の鈍る頃であり、ちょうど開催される高校野球が営業マンの行動を鈍くする、悪い相乗効果が重なる事で有名な月である。けれど、今年は年々低下する営業成績に歯止めをかけようというのか、一般の売上の低下には一定の歯止めがかかっているように感じられる。ただ、愛知博の影響のせいか、観光客の入りは少なく、従って観光産業に関係する業種はかなりの痛手を被ったのではないだろうか。一般固定客を対象にしている商店街であったことに少しほっとしているといったところか。
サービス業	旅館、ホテル	個々の施設によってはバラツキがあるものの夏休みの行楽シーズンにしては一般的に低調に推移している。また原油の高騰により遠出による旅行を控え、日帰り旅行等が増え、宿泊業界への影響が出ているものと思われる。
	旅館、ホテル	組合員(旅館)が1名増加。これで昨年8月より3件が加入。減少する温泉観光地の中であって、増加する事は地域ブランド力であると評価したい。その他に愛知万博が9月25日で収量するが、その後の国内観光の需要の動向がどうなるのかが気懸かりである。
	自動車整備業	8月の継続検査(登録車・軽自動車)実績車両数は、前年同月比10.6%増、前月比では14.2%の減となり、新規検査(登録車・軽自動車)車両は、前年同月比5.9%増、前月比では27.5%減で推移している。
	旅館、ホテル	現在、旅館数は19館。平成17年6月19日より湯快リゾート山中グランドホテルがオープンし、宿泊人員は増加にあるものの湯快リゾートは低価格販売においての集客である。今後の山中温泉全体の動向にどの様な影響をもたらすか、従来型の温泉観光地、旅館文化の根幹部分の影響に懸念する。これまでと違った旅館のシステムによる質的より量的な営業のあり方に、どの様に対処すべきか注視したい。
建設業	一般土木建築工事業	建設工事の受注高は、前年同月比24.7%の減となった。内訳としては、民間土木は8.1%の減、民間建築は16.5%の減、民間としては15%の減となった。公共土木は20.1%の減、公共建築は52.6%の減となり、公共としては30.4%の減となった。公共土木がじわりじわりと厳しさが増してきた。
	鉄骨・鉄筋工事業	稼働率は70～80%で推移しており、企業間で格差が生じている。指値低下(安価)で大変苦しい状況であり、9月以降は不透明な状態である。
	板金・金物工事業	依然として、受注状況は能登と加賀には大きく格差が生じている。特に加賀地区は受注が減少傾向にある。材料の中には一部品不足が生じている物がある。受注単価は零細企業程厳しい傾向にある。万年不況のイメージは消えない。
運輸業	一般貨物自動車運送業	8月は軽油価格が前月比2円程度の値上げ実施、9月にはさらに3円程度、そして10月にはさらに値上げが予想される。一体何時まで値上げが続くのであろうか。
	一般乗用旅客自動車運送業	交通事故死者数が全国的に減少の中、高齢者(65歳以上)の事故が急増し、特に死者数の割合は石川県が46.9%と全国平均の41.5%を上回っていると警察庁が公表したが、幸い高齢者の(職場環境の実態のわりには)タクシー事業者に関する死亡事故は起きていない。その他に中心街での違法駐車が大きな社会問題に発展している(若いドライバーが育たない。)。相変わらずの原油高騰が続き、先行きは真暗である。
	一般貨物自動車運送業	8月は天候も順調で売上は前年同月比増加したが、収益は一段と悪化している。原因は経費率の増加で、燃料の高騰が主因。軽油は8月も1.5円～2円程度の値上がりし、さらに9月も値上げ要請があった。荷主に運賃の改定をお願いしても全く聞き入れられない状況である。

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
一般機器	機械、機械器具の製造又は加工修理	石綿対策に対して、行政で今後どのような方針を考えているのか。業界独自での対策では限界があると思うのだが、いかがなものか。
繊維・同製品	織物業	石油類価格高騰対策
運輸業	一般貨物自動車運送業	原油の値上がりに対し、政府備蓄の一部取り崩しや、軽油引取税の上乗せ暫定税率7円80銭の撤廃を要望する。
サービス業	旅館、ホテル	金沢・白山麓・南加賀・福井県嶺北地域間の公共交通路線、二次交通システムの構築整備やJR・飛行機等ご利用の個人客対応として、広域間を自由に乗り継がれる公共交通の整備。その他として、観光業況変化のための調査補助事業支援。